

こまき市民活動ネットワークの“今”がわかる!

ネットワークニュースレター

2008.11
vol.6



特集

『親子であそぼ! げんき村』報告

特別企画

『信長サミットに向けた』こころのリリース講演

第一回 『ものづくりの日本力』

活動報告

小牧ワイアンドット友好市民の会

常普請木遣保存会

会員紹介

にんじんCLUB

ミュージカル劇団「スパーク」

イベント・セミナー・助成金情報

ネットワーク・インフォメーション

中長期政策会議「ザ・徹ろん」

中間支援カアップスクールに参加して



特集 「親子であそぼ!! げんき村」報告

第29回小牧市民まつりが10月18(土)・19(日)日に開催され、こまき市民活動ネットワークは、小牧山史跡公園会場において3回目となる「親子であそぼ!!げんき村」を開村しました。

両日とも雲ひとつない晴天で、秋とは思えない暑い日となりましたが、まつりの熱気も一段と高まり、終日親子でいっぱいとなりました。

今年は本部を含め30のブースが設置されました。食品の取り扱いが厳しくなっている風潮の中で、体験・工作等の参加型、展示型のブースが多くなりましたが、来場者のメッセージを貼った「げんきの木」には、様々な体験・学びができることの良さ、楽しさへの声が数多く寄せられました。

全体を通して、搬入・搬出を一方通行にしたこと、パフォーマンス・スタッフ専用の控え室を設けたこと、参加団体への当日のアンケートをもとに反省会を開催したことなど、運営面においても改善を試みました。

今後、参加団体の運営面への参加を進め、より魅力的なげんき村を目指したいと思います。
みなさん、お疲れ様でした！
(実行委員長 長谷川泰洋)



← 今年初登場の手作りの「げんきの木」。来場者のメッセージが書かれた色とりどりの葉っぱで、いっぱいになりました。今後のげんき村への貴重な意見となりました。



恒例となりつつある「ふるしきパルーン」に子ども達はおおはしゃぎ！色鮮やかなふるしきが宙を舞い、げんき村を活気づけました。



広場で行われたパフォーマンスの目玉は、大阪の大道芸人「シンディーザ・クラウン」の大道芸。プロの妙技に子どもも大人も夢中で見入りました。



愛知県立小牧工業高校のボランティアサークル「ボランティア工房」から、両日8名ずつが本部スタッフとして参加。来場者の呼び込み、チラシの配布、パフォーマンスへの参加など多方面で活躍し、げんき村を盛り上げました。

◇◆当日までの主な流れ◆◇

7月10日	第1回実行委員会 参加団体・パフォーマンス決め
9月12日	第2回実行委員会 ブースの配置、チラシの配布
10月10日	第3回実行委員会 前日準備・搬入・搬出について
10月17日	前日準備(「げんきの木」、げんき村の入口アーチ他)
10月18・19日	小牧市民まつり げんき村開村
11月14日	反省会(団体アンケート、メッセージの集計報告)

特別企画 ～信長サミットに向けた“こころ”のリレー講演～ 第1回『ものづくりの日本力』

8月30日（土）味岡市民センターにて、ノンフィクション作家山根一眞氏をお迎えし「ものづくりの日本力」と題した講演会をネットワークの自主企画で開催しました。

まず、講演に先立ち中島教育次長の歴史講話があり、「江戸のまちづくりのモデルは小牧にあり」と最近の各方面での信長に関する研究や小牧市における遺構調査についての説明があり、小牧と信長の関係が歴史的に非常に重要であると認識を新たにしました。

そして山根氏が登場。前日にホテルの窓からご自身で撮影された「小牧の空の雨雲の変わり行く様子」から講演が始まりました。鋭い観察眼は、さすがサイエンスジャーナリスト！名古屋の東海豪雨の時もその場におられたようで、新聞の報道記録も混ぜながら、話は「ものづくりと愛知」「愛知万博」へと進んでいきます。



講演中の山根氏

小牧には日本の宇宙産業の大切な部分を開発している企業がたくさんあるそうです。最近では、日本の月探査機「かぐや」。この探査機を打ち上げたロケットのエンジンも小牧産です。古くは信長も眺めながら壮大な夢を描いたであろう「月」。夢とビジョン、そこへ向かおうとするエネルギー、そして技術。まさに宇宙のフロンティアは小牧にあると熱く語る山根さん。また、宇宙とは全く逆の深海探査機に乗り込んで体験した未公開映像も登場。光が届かない深海で発見された微生物は人間と同じ遺伝子を持つそうです。「その起源が火星からの隕石だという説が有力！」と、ポケットからいつも持ち歩いているという隕石をとり出して楽しくお話されました。

最後に、IPCC（地球温暖化政府間パネル）パチャウリ議長とのインタビューの映像が写しだされ、「今の日本は自らを過小にとらえているのではないか。日本の役割と力に期待したい。新たな文明開化のフロンティアを愛知・小牧から起こしてほしい」と訴えかけられました。

講演の後には、この事業を企画されたNPO法人KU—MA（子ども・宇宙・未来の会）会長の川泰宣さんと副島教育長による対談が行われました。「小牧市内の学校で宇宙の事業をやったらどうか？」との山根さんの提案に、「ことし三菱重工業を先生たちで初めて見学した。上が決めては参加意欲がなくなるので、自由に勉強できるような配慮ができれば」と副島教育長。

「日本人にはすべき役割がある。期待も大きい。子どもの将来のためにも、一人の大人として何ができるか。30年後を目指して挑戦できる子供たちを大人みんなで育てたいですね」と語る川さん。「信長と宇宙で今後新しい動きが出てくれば！」と熱い気持ち伝わってきました。

次回の信長サミットに向けた“こころ”のリレー講演は、著名な建築家 小川三夫氏をお招きして棟梁「匠のこころ」と題して11月22日（土）に東部市民センターで開催いたします。ぜひご期待ください。



向って左から副島教育長・山根氏・的川氏

（副代表理事 秦野利基）

小牧ワイアンドット友好市民の会

友好市民の会設立20周年記念訪米団 10月16日(木)~23日(木)

姉妹都市提携45年、友好市民の会設立20周年を期して、7名のメンバーで米国ミシガン州のワイアンドット市を訪問し、同市民との友好親善を深めて参りました。

初日はデトロイト空港で長年親交のあるジョージ・グースさんの出迎えを受け、ワ市のバスで昼食のレストランへ直行しました。3日間の滞在中、市役所とウィルソン中学への表敬訪問のほか、歴史博物館、警察署、グリーンフィールドビレッジを訪れ、ハロウィンで賑わう夜の中心街で、小さなコップでビールの飲み放題も堪能しました。



中華レストランの送別会でワイアンドット市民のみなさんと記念撮影。

デトロイトリバー沿いのボートクラブハウスでの歓迎パーティーから中華料理レストランでの送別会まで、ウィルソン中学教師のスーさん、ジョアンさんを始めとして、多くのワイアンドット市民のみなさんの温かいおもてなしに接し、また旧知の間柄ゆえの昔話に花を咲かせ、草の根レベルでの市民交流は充分果しえたものと確信いたします。

今後、ワイアンドット市との親善交流がさらに深まることを切に願います。

(小牧ワイアンドット友好市民の会 会長 福井正夫)



常普請木遣保存会

市民まつり小牧山ステージで木遣りを披露

10月19日(日)



紅白の布が巻かれた棒を担ぎ、威勢の良い唄声で盛り上げた小牧山ステージ。

常普請地区に木遣保存会ができて32年になります。戦争で一時中断され、その後、32年前に復興した保存会です。

毎年恒例の行事となっているのが3月15日「^{たがた}田県神社の豊年祭」、地元常普請天満宮の「春の大祭」、「小牧市民まつり」への参加です。また結婚式の新郎新婦の先導、上棟式の唄い上げなど、各地の依頼先で披露しています。

毎月2回の土曜日を練習日とし、常普請会館にて35名の会員が集い練習に励んでいます。唄と踊り(扇子踊り、棒踊り)を音頭と受けに別れ、夜2時間ほどの練習ですが、腹から声を出すことによって結構いい運動になり、36歳から78歳までがんばっています。

(常普請木遣保存会 代表 舟橋典夫)

木遣りは、古くは伊勢神宮の遷宮が始まりとも、この地区では織田信長が小牧に館を建てる時に唄ったとも言われています。有名なところでは、長野オリンピックの時に諏訪大社御柱の木遣りが披露されました。高い声で音頭が先導し、受けのメンバーが全員で唄うというスタイルをとっています。中でも「伊勢音頭」は著名な唄のひとつで、よく唄われています。

にんじん CLUB



毎日食べるものが、私たちのからだをつくる。だから作り手の見える、安心して食べられるものがほしい・・・

『にんじんCLUB』は、そんな思いをきっかけに、1986年から活動をスタート。最近の子どもたちの食をめぐる環境は悪化してしまい、家族が揃って食事を取る場面も激減しています。私たちは、将来子どもたちが、食べ物のふるさと感じながら、物語や会話のある食事や季節感のある食卓で、日本の豊かさを知って味わってほしいと願っています。

さて、今回で3回目になる「畑の朝市」は、地元の商店街の人に参加してもらい、元気になってほしいと定期開催を始めたもので、日常的にも小牧のまちづくりに関わることになりました。小牧や近郊地で、農薬や化学肥料を使わない素朴でおいしい野菜づくりをしている出店者はもちろん、フェアトレードの商品や手仕事で作ったまな板職人さん、ご近所のエプロン屋さん、花屋さんなど、さまざまな出店者が入れ替わり関わっていただいています。

小牧探検隊と称して「グリーンマップづくり」も同時に開催し小牧の魅力再発見をしています。最近では、お馴染みのお客様も定着して、お買い物しながらコミュニケーションがもてるのが一番楽しい時間です。

物を売るといふより、人と人のつながりを大事にしていきたいと、今後は若いミュージシャンによるコンサートを開催して、子どもも楽しめる「音楽」のある楽しい「朝市」に。いつか、「小牧の子ども朝市」なども企画したいと考えています。

(にんじんCLUB 坂本隆夫)



地元小牧の生産者も参加している「畑の朝市」開催中。11月29日までの毎週土曜日10時～13時に開催しています。

ミュージカル劇団「スパーク」

本劇団は、小牧市・小牧市教育委員会主催で行われた公募による市民舞台芸術祭「市民ミュージカル」にキャスト・スタッフとして参加した人々が中心となり、2000年に設立、青少年の健全育成を目的として活動している団体です。現在は小牧市内小中学生の団員が、毎週土曜日の午前中に、演技・ダンス・歌唱のレッスンに励んでいます。

設立以来、小牧市の文化的催しに積極的に参加していますが、2008年6月には初めての自主有料



公演「その後の桃太郎」を味岡市民センター講堂で上演しました（写真）。満席のお客様を見て、改めて多くの皆様に支えられていることを実感しました。これからもこのような機会を持ち、多くの方に感動していただけるミュージカルができるよう努力していきたく思います。

また、今年の市民ミュージカル「遠き日の約束～吉五郎の恋～」は小牧市民舞台芸術祭実行委員会の委託を受け、本劇団が運営します。12月13日（土）18時30分と14日（日）13時30分に東部市民センター講堂で公演があります。入場料は500円です。子どもたちはキャストとして、保護者は応援団として、現在奮闘中です。ぜひ見に来てください。

(ミュージカル劇団「スパーク」代表 峰雪まゆみ)

イベント・セミナー・助成金情報



小牧市市民活動センター「げんき考房こまき」研修事業 H20年度NPO講座 小牧市受託事業 「米野さわやか会」さんから学ぶ 道路の美化活動に参加しよう

日時 H21年1月18日(日) 午前8時～10時30分(集合7時45分)
集合時間 米野小学校北門(駐車場に限りがあります)
内容 米野さわやか会の活動に参加し、日頃の活動についてお話を伺います。
定員 先着30名(親子の参加も可)
参加費 無料
※ 雨天の場合は1月25日(日)に順延
※ 保険に加入します(自己負担はありません)
※ 作業後に、あたたかいぜんざい・雑煮を食べます。
問合せ・申込先(特) こまき市民活動ネットワーク 電話 74-4011 F A X 74-4070

小牧市市民活動センター「げんき考房こまき」H20年度団塊世代支援事業 団塊世代起業塾 連続3回講座

講師 NPO法人 0563.net 代表 榊原正利氏

第1回 講演『ありがとう!』といわれるビジネス
日時 H20年11月30日(日) 午後2時～4時30分
場所 小牧市まなび創造館研修室2(ラピオ5階)

第2回 起業体験者から学ぼう(起業体験者の成功の秘訣や苦労話)
日時 H21年1月25日(日) 午後2時～5時
場所 小牧市公民館4階視聴覚室

第3回 コミュニティビジネスを学ぼう(経営理念・企画作り・PR方法・資金調達など)
日時 H21年3月29日(日) 午後2時～5時
場所 小牧市公民館4階視聴覚室

定員 30名
参加費 無料
問合せ・申込先 小牧市市民活動センター 電話 74-4011 F A X 74-4070
E-mail komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp

～織田信長サミットに向けた“こころ”のリレー講演～

第2回 棟梁「匠のこころ」

講師 小川三夫氏
プロフィール 1947年、栃木県生まれ。高校の修学旅行で法隆寺五重塔を見る。これにより卒業後、法隆寺宮大工の故西岡常一棟梁の門を叩くが断られる。仏壇屋などで修業後、西岡棟梁の唯一の内弟子となる。法隆寺三重塔、薬師寺金堂、三重塔の再建に副棟梁として活躍。1977年、徒弟制を基礎とした寺社建築専門の建設会社「鶺鴒(いかるが)工舎」を設立。全国各地の寺院の改修、再建、新築等にあたる。最後の宮大工といわれた名工西岡常一氏が棟梁として育てた、ただひとりの弟子。

日時 H20年11月22日(土) 開演：午後2時(開場：1時30分)
場所 東部市民センター講堂
定員 600名
参加費 無料
問合せ・申込先 小牧市市民活動センター 電話 74-4011 F A X 74-4070
E-mail komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp

詳しくは市民活動センターに各チラシがありますのでご覧ください。

特定非営利活動法人 尾張小牧歴史文化振興会主催 講演会
講演 「尾張名古屋の文化について」

日時 H20年11月24日(祝・日)午後1時10分開場
1時20分 記録映像上映会「重文・銅造誕生釈迦仏立像」里帰りの記録
2時10分 講演会 講師：文学博士 安田文吉氏(南山大学人文学部教授)

場所 小牧商工会議所会館4階大会議室

会費 講演会費 1,000円(チケット購入にて出席とさせていただきます)※会員は無料

チケット販売 尾張小牧歴史文化振興会 役員及び委託店など

問合せ先 (特)尾張小牧歴史文化振興会事務局 電話 42-9800 F A X 72-5844

H20年度小牧市市民活動助成金対象事業
第4回 Oからの親子で楽しむ音楽会

日時 H20年12月14日(日)午前の部10時30分開演 午後の部1時30分開演

場所 小牧市味岡市民センター講堂

出演 愛知室内オーケストラメンバー

料金 親子ペア券(大人1人に付き子ども何人でも可)2,000円
大人1人 1,000円

定員 各部40家族程度

申し込み方法 名前・電話・希望公演(午前・午後)・チケットの種類と枚数を記入の上
pokoapoko@m-cplace.com までメールで。一週間以内に折り返し連絡します。

第30回小牧市民まつりプランナーを募集します！！

応募資格 H20年10月1日現在、満18歳以上の市内在住もしくは在勤・在学者

募集人数 若干名(男女問わず)

応募方法 住所・氏名・年齢・職業・連絡先・市民まつりへの想い(簡潔で構いません)を記載した用紙(様式不問)を下記まで提出してください。

受付期限 H20年12月12日(金)必着

応募・問合せ先 〒485-8650 住所不要
小牧市民まつり実行委員会事務局(小牧市役所生活交流課内)
電話 76-1173 F A X 72-2340 E-mail seika tsu@city.komaki.lg.jp

(社)全互協第10回社会貢献基金助成公募

対象事業 高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、環境・文化財産保全、国際協力・交流、調査研究事業など社会貢献に資するあらゆる事業

対象団体 非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、法人格を持たない任意団体・市民ボランティアグループ)、大学、研究機関(個人も可)

助成金額 1件当たり上限200万円以内(年間助成金額1,000万円)

募集期間 H20年10月1日~H21年2月末日(必着)

交付時期 H21年6月

問合せ先 社団法人全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金運営事務局 担当 山村
(受付時間 月~金 午前10時~午後5時)
電話 03-3433-4415 E-mail webmaster@zengokyo.or.jp

ネットワーク・インフォメーション

■ 中長期政策会議「ザ・徹ろん」

総務委員会では理事会メンバーを対象に、第5回中長期政策会議を11月8日（土）小牧市青年の家で行いました。

今回の会議は、秦野副代表の「東京JICの徹ロンて知ってます？」 松田代表の「それいいね！」の一言で決まっちゃいました。題して「ザ・徹ろん」、目的はズバリ徹底的に話し合いをする場を持つことです。

1部の会議が午後3時から10時まで7時間！2部はビールを片手にエンドレスと超ハードなスケジュールです。結局、最後に残った方は午前4時まで延々と熱く議論を行いました。

会議では、「事業の検証の必要性」「再度ニーズの把握」「行政の仕事を民間に移行していく仕組みの必要性」などネットワークの本来の目的や役割の再確認をしました。

また、お酒が入ると人間本音で話せます、また意外といいアイデアが出るものです。青年の家で元青年がビール片手に熱く語る姿は市民活動らしくていいですね。

今後も定期的に問題点や課題を話し合う場は必要だと感じました。参加された皆様、遅くまでお疲れ様でした！

（総務委員長 松浦裕計）



■ 中間支援力アップスクールに参加して

事務局のスキルアップを図るため、（特）地域福祉サポートちた主催の「中間支援力アップスクール」（あいちモリコロ基金助成事業）に参加してきました。場所は知多市市民活動センターで行われ、6月23日（月）～8月11日（月）の期間で全7回の連続講座でした。

日頃、他の中間支援組織と情報交換をする機会がなかなか得られないこともあり、大変勉強になることが多かったのですが、中でも各センターが抱える悩みとして、「公設公営の限界を感じる」「スタッフが継続しない」「日々の事業に追われ、人材育成まで手が回らない」「人材不足、資金不足、経験不足」「行政とのやり取りがうまくできない」「理事、あるいは運営側と事務局がうまく繋がらない」など、多少の違いがあるにせよ、どの市民活動センターでも同じような悩みを抱えていることを実感しました。

しかし、うまく運営ができていところもあり、そういうセンターでは組織がしっかりしていて、スタッフや関わる人間が自由に意見を言える環境にあるように思えました。

また、事業をするには、その地域に合ったニーズ・課題を厳選して行うこと、必ずしも他の市町のまねをすればうまくいくものではないという事もわかりました。

NPOは人が資本。人とのつながりがこの仕事（中間支援として、センターとして）にとって一番大切な事だと改めて認識しました。

今後は、今回知り合った他団体とさらに情報交換をし、市民にとって必要とされる中間支援組織を目指して行きたいと思います。みなさまのご意見もぜひお寄せ下さい。

（事務局次長 伊藤かおり）



主な参加団体：

とよた市民活動センター（豊田市）・豊田市益富交流館（豊田市）・NPO 法人あっとわん（春日井市）・犬山市民活動支援センターの会「しみんてい」（犬山市）・北福市民の会（日進市）・（特）ボラみみより情報局（名古屋屋市）・NPO法人ボランティアネイバース（名古屋屋市）・NPO 法人 NPO 愛知ネット（安城市）・蒲郡協働まちづくり推進委員会（蒲郡市）・なごやボランティア NPO センター（名古屋屋市）・愛知県知多市民生活プラザ（知多市）・（特）こまき市民活動ネットワーク（小牧市市民活動センター）（小牧市）

編集後記：これからNPO講座など様々な事業を開催していきます。みなさまへは、メールやチラシ等でお知らせさせていただきますので、ぜひ多数のご参加をお待ちしています。これからの寒い季節、ご自愛してお過ごし下さい。（ひ）

ネットワークニュースレター第6号

◎発行・編集：特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク ◎発行日：2008年11月15日

〒485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 小牧市民館4階

TEL：(0568) 74-4011 FAX：(0568) 74-4070

e-mail:info@npo-komaki.net HP:http://www.npo-komaki.net/